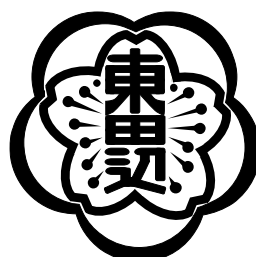


令和 8 年 度

運営に関する計画



大阪市立東田辺小学校

学校教育目標

楽しく学び、おもしろく考え、
美しく生きる

校訓

仲よく 明るく 力いっぱい

めざす子ども像

学ぶことを楽しむ子
自分で考え、深める子
思いやりをもち、よりよく生きる子

大阪市立東田辺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、「楽しく学び、面白く考え、美しく生きる」を新しい学校教育目標として掲げ、安全・安心な教育の推進、学力・体力の向上、それらを支える教育環境の充実に取り組んできた。また、地域を学習の対象とした探究学習にも取り組み、地域やPTA行事だけではなく研究活動においても地域と一体となって取り組みを進めていることが本校の大きな特徴である。更に、次期学習指導要領への改定を視野に入れ、教育課程の柔軟化にも取り組んでいる。

安全・安心な教育の推進については、いじめ(いのち)について考える日に行う、「いじめ0宣言」や、あ(あいさつ)ひ(人の話を聞く)る(ルールを守る)の力の取り組み、地域と連携したあいさつ活動の定着により、少しずつではあるが成果があがっている。今後も、子どもたちのわずかな変化を見落とさず支えていくとともに、子どもたちの心身の成長を促すことができる教育活動を、幅広く展開していくことを大切にしたい。

学力・体力の向上については、特に未来を切り拓く学力の点においては、研究活動を中心に非認知能力の向上に成果をあげてきている。ただし、小学校学力経年調査と全国学力・学習状況調査の平均正答率を高めることも重要であるととらえ、学力向上推進委員会が中心となって、児童の学力向上の取り組みを更に強化する必要がある。また、体力面では学年によって傾向性が異なるため、結果を正確に分析し、その学年の実態や課題に合わせた効果のある取り組みが必要だといえる。

教育環境の充実については、専科制度の効果的な運用を図っていくことや、更なるデジタル化を前提とした効率化、若手教員の育成、教職員の働き方改革を見据えた取り組みを更に充実していくために、「チーム学校」をより充実させていくことが重要であると考えます。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、**最も肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。**

R7	R8	R9	R10	R11
61.0%				

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

R7	R8	R9	R10	R11
—				

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

R7	R8	R9	R10	R11
84.1%				

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

R7	R8	R9	R10	R11
—				

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、**最も肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。**

R7	R8	R9	R10	R11
77.4%				

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、**最も肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。**

R7	R8	R9	R10	R11
—				

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、**肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。**

R7	R8	R9	R10	R11
—				

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、**最も肯定的に回答する児童の割合を 62%以上にする。** (R7 年度 61.0%)
- ② 小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、**肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。** (R7 年度 80.7%)
- ③ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、**肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。** (R7 年度—%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ④ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を **92%以上**にする。 (R7 年度 84.1% ※R7 3～5 年 91%)
- ⑤ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、**最も肯定的に回答する児童の割合を 66%以上**にする。 (R7 年度 61.9%)
- ⑥ 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、**肯定的に回答する児童の割合を 80%以上**にする。 (R7 年度—%)
- ⑦ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、**最も肯定的に回答する児童の割合を 82%以上**にする。 (R7 年度 77.4%)
- ⑧ 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、**最も肯定的に回答する児童の割合を 70%以上**にする。 (R7 年度 65.0%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ⑨ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、**最も肯定的に回答する児童の割合を 74%以上**にする。 (R7 年度—%)
- ※「パソコンを活用して、単に調べるだけでなく、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」の項目に対して、70.1%
- ⑩ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、**肯定的に回答する児童の割合を 80%以上**にする。 (R7 年度—%)
- ※「パソコンを活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」の項目に対して、70.9%
- ⑪ 時間外勤務時間について、年 540 時間を超えて実施する教員をゼロにする。 (R7 年度—%)

大阪市立東田辺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を62%以上にする。 (R7年度 61.0%)</p> <p>② 小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。 (R7年度 80.7%)</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (R7年度一%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 全教職員の協働によって、児童が落ち着いて学校生活を送る支援を行う。</p> <p>指標 学期に1回いじめアンケートの調査結果を把握したり、月に1回気になる児童の状況を伝え合ったりすることで、全教職員で児童の実態把握に努める。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 「学校安心ルール」をはじめ「あひるの力※」「みんなの約束」を活用し、規範意識の醸成や社会性育成のための指導に取り組む。</p> <p>※「あいさつ」「ひ」との話を聞く「ル」ール・マナーを守る</p> <p>指標 学期に1回強調週間を設けて、ふり返りアンケートにおける各項目に対して、「よくできた」と回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 自他の生命と尊厳を互いに尊重する教育を推進し、児童の自尊感情を高めたり他者を思いやる気持ちを育んだりする取り組みを実践する。</p> <p>指標 学校生活アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 学校ビオトープや学習園等を積極的に活用した飼育・栽培活動を通して、自然や生命、環境を大切にしている意識の醸成を図る。</p> <p>指標 全学年の児童が、2種類以上の飼育・栽培活動を実践する。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】 児童のキャリア発達を促し人間関係づくりの力を高めるため、学年間の児童の交流を活発に行う。</p> <p>指標 学年間の交流を、学期に1回以上実践する。</p>	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>④ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。 (R7年度 84.1%)</p> <p>⑤ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。 (R7年度 61.9%)</p> <p>⑥ 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 (R7年度—%)</p> <p>⑦ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。 (R7年度 77.4%)</p> <p>⑧ 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 (R7年度 65.0%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑥【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 子どもたちの興味・関心を大切にしたい授業展開の工夫を行う。</p> <p>指標 学校生活アンケートにおける「理科の授業において、疑問をもったり、気づいたりしたことをもとに理科の学習に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 探究的な学習を計画し、個々が自己調整できる「主体的・対話的で深い学び」を実現する。</p> <p>指標 学校生活アンケートにおける「自分の考えと比べながら、友だちと話し合い活動をしている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑧【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 個人のめあてをもち、活動してふり返りを行う授業展開に取り組む。</p> <p>指標 学校生活アンケートにおける「自分のめあてをもち、学習に取り組むことができています。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	

<p>取組内容⑨【基本的な方向5 健やかな体の育成】 体力・運動能力向上の支援を進め、子どもたちの運動やスポーツに親しむ機会を充実させる。</p>	
<p>指標 運動する機会や運動週間を設け、年間3回以上実施する。</p>	
<p>取組内容⑩【基本的な方向5 健やかな体の育成】 規則正しい生活リズムを身に付けることや、健康な身体づくりをするために食生活が大切であることを保護者に啓発するとともに、子どもたちに意識させる。</p>	
<p>指標 年1回の栄養指導や毎月の給食だよりや食育通信の発行、各学級での継続的な指導を行う。</p>	

大阪市立東田辺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>⑨ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 74%以上にする。 (R7年度—%)</p> <p>※「パソコンを活用して、単に調べるだけでなく、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」の項目に対して、70.1%</p> <p>⑩ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 (R7年度—%)</p> <p>※「パソコンを活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」の項目に対して、70.9%</p> <p>⑪ 時間外勤務時間について、年540時間を超えて実施する教員をゼロにする。 (R7年度—%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑪【基本的な方向6 教育DXの推進】 協働学習支援ツールを活用した探究学習を各学年で取り組む。</p> <p>指標 各学年で取り組んだ内容を振り返る研修会を年間2回以上行い、実践交流することで、全教員で成果や課題を共有する。</p>	
<p>取組内容⑫【基本的な方向6 教育DXの推進】 デジタル学習計画を取り入れた授業を各学年で取り組む。</p> <p>指標 デジタル学習計画を取り入れた授業を全教員が年間1単元以上行う。</p>	
<p>取組内容⑬【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員の働き方改革を推進し、仕事と生活の両立を大切にする職場づくりを行う。</p> <p>指標 「ゆとりの日」と学校閉庁日の設定を合わせて年間60日以上実施する。</p>	